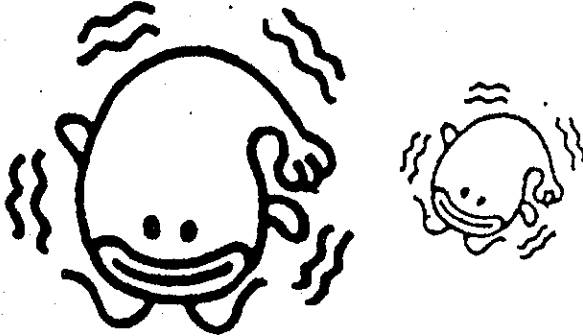


衣川台なまず通信

第10号



発行 衣川台自主防災部
発行日 2007年8月9日

第1回 防災訓練実施報告

大雨の中ご参加お疲れ様でした

事務局 池田 明

6月24日(日)[13時から16時30分]、雨天の中、衣川台自主防災部19年度第1回防災訓練が行われました。

今回は雨天のため計画内容を一部変更して、次の訓練が実施されました。

- ① 本部設置訓練(非常電源立ち上げ、本部員召集など)
防災部役員や、活動協力員53名が本部に参集
- ② 安否確認訓練(今回の重点訓練項目として実施)
全世帯370世帯の内214世帯参加(前年度165世帯)、108世帯留守、48世帯不参加。在宅人数676名の無事と、火災の発生ゼロを確認。
加えて留意世帯の安否確認(情報統括班長が一部の留意世帯を抜粋して実施)。
- ③ 本部からの情報発信訓練(本部から組長へ地震情報などの発信)
- ④ 避難ルート踏査訓練(避難誘導班による通行可能ルートの踏査確認と報告)
- ⑤ 消防署職員の指導のもとに次の訓練を実施(約80名参加)
★消火器の取り扱い方法の説明 ★三角巾などを活用した止血方法の応急処置
★骨折時の応急処置 ★毛布と物干棒を活用したタンカ作成と怪我人の搬送
- ⑥ 給食・給水班による非常用食品の展示と簡易炊飯袋を使用した米の炊飯実演と試食

今回の訓練では、ほぼ予定時間どおりに推移できました。

また、安否確認訓練では、特に安否確認要領についての種々の課題が指摘され、今後情報班を中心に改善検討を行い、より一層の充実を図ることにしました。

なお今回、大津市平野学区、仰木の里学区、堅田学区より12名の見学がありました。

訓練日当日の消防署職員のお話から

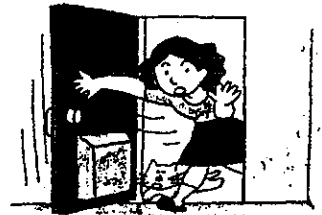
役に立つ「アドバイス」を拾ってみました。
グラツときたら・・・①身の安全を守る ②火を消す ③出口の確保 の順で。
消火器は・・・ ★8年以上経ったものは、買い換えたほうが賢明。
★ 容量の大小に拘らず、噴射時間は10～20秒程度。
★ 消火の時は5m手前から。それ以上近づくと危険。

第1回防災訓練アンケート集計

事務局 岡田 融

防災訓練の回数を重ねるにつれ、衣川台の「防災の仕組み」への理解度が高まっていることが、アンケートへの回答を通じて分かります。(アンケート提出数 72世帯)

- ① 「安否確認」の意味合い(意義)を理解できますか
理解できる、まあまあ分かる・・・90.6%
- ② 訓練や説明資料を通して「安否確認」の方法を理解できましたか
どうするか分かった、大体分かった・・・95.7%
- ③ グループリーダーがどなたか、覚ええましたか
覚えた、知っている・・・100%



④ 感想、意見の要約

- ★ 訓練を重ねることは、意識が高まり対応の仕方が身についてとても意義がある。一方でまだまだ無関心な方が居られるのは残念。
- ★ 「安否確認連絡シート」はもう少し扱いやすい形が望ましい。
- ★ 隣近所助け合う訓練として、良いことだと思う。いざのとき、グループリーダーが不在のこともあり得るので、誰もがグループ内の安全確認をできるように定着することが望ましい。そのためには、グループ内での日常のお付き合いが基本。
- ★ 広報は、放送技術、内容が不十分だった。

世帯情報集約状況の報告

大地震時、住民の皆様の安全確認と、緊急援護を図る上で必要な情報として、全戸を対象に、「世帯情報」の提供をお願い致しました。その集約状況をお知らせします。

- ◆ 全世帯数・・・370世帯
- ◆ 今回受領の情報数・・・244世帯 (66%)
《前回までの提出分と合わせば287世帯(78%)》
- ◆ この内留意世帯・・・44世帯(身体障害者等災害弱者 49人)

世帯情報の管理と運用は、自主防災部の重要項目の一つであり、その取り扱いについては規約等に明文化して、万全を期すことになっています。

人ごとでない

「新潟県中越沖地震」

—新聞記事から学ぶこと—



《役だった防災訓練》

柏崎市の荒浜コミュニティセンターには300人が避難した。

この地域は、毎年防災訓練を欠かさない。

震災当日も、協力して海産物や野菜を持ち寄り1000人ほどの炊き出し、おにぎりも600個以上を握った。

衣川台でも

毎年3回防災訓練をしている
ぜひ皆さんも参加して、体験を身につけましょう。

《薬切れも不安》

慢性疾患を持つ人達には、薬の補充も心配だ。避難所のお年寄りは「痛み止めや血圧を下げる薬が切れたらと考えると恐ろしい。夫も脳栓塞で薬も1袋分しかない」と顔をこわばらせた。

お薬は

5日分ぐらいの手持ちがあるように、お医者さんに行きましょう。飲んでいるお薬の名前を覚えておくか、手帳などにメモしておくことも大切です。

《安否確認に個人情報の壁》

高齢者や体の不自由な人達など、震災時に支援の必要が高い「要援護者」の安否確認。柏崎市は「要援護者」のリストを作成していたが、誰がどう使うか未定だった。

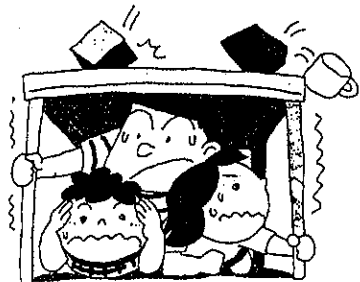
「町内会や民生委員など自習防災委員会を作り、リストを活用してもらおうとしていた」が個人情報保護の観点から反対意見もあり、役所で意見をまとめている途中だった。

一方 長岡市は、外部と情報を共有して安否確認を進めた。今年作った約4600人分のリストの内、同意を得た3200人分は、民生委員・警察・社会福祉協議会等に配布していた。地震から6時間後には、全員の安否確認ができたという。

衣川台では

同意確認の上「世帯情報」を提出してもらっています。今年の提出者は去年より増え（2面参照）安否確認の力になります。

これからも「世帯情報」提出にご協力ください。



第1回 防災パトロールの結果報告

事務局 牛尾 定勝

昨年（2回実施）に引き続き今年度の第1回防災パトロールを、6月30日に防災部役員が実施しました。今回は西羅古墳以北の衣川台半分を丁寧に見回り、いくつかの問題点が指摘されました。

- ① 植木鉢が塀や門柱の上に置かれており、落下して通行人を危険にさらす恐れ。
- ② 北進入路の桜並木が茂り、道路標識が見えにくい。
- ③ 羅古墳北斜面の最上段のブロックが、桜の木の成長で崩れかけている。
- ④ 家庭用倉庫の扉が開いている所があり、可燃物が見えていて防火犯罪を誘う恐れ。
- ⑤ 4組北進入路の定置消火器ケース内の消火器本体（1本）無くなっていた。
- ⑥ 定置消火器ケースに、サビが進行したもの、溶接がはずれたものがある。

上記のうち自治会や防災部で対応・処置するべきものは取り組みます。

①の植木鉢と ④の倉庫などの開放については各ご家庭でのご注意をお願いします。

こんにちは！ なまず通信編集局です

衣川台なまず通信」読んでいただいていますか？

年4回 自主防災部の活動をお知らせしています。チラチラでよいので見てください。能登半島に続き、7月16日新潟県中越沖地震が起きました。

堅田断層や花折断層の近くに住む私達も、被害者となる日が来るかも知れません。

去年は防災訓練の報告や「震災のときにあって助かったもの」「水の用意は1人1日3ℓ」「防災伝言ダイヤルは171（イナイ）」などの豆知識も載せました。

一度でも読んでおくと、忘れたようでも頭のどこかに引っかかっている、いざという時役に立ちます。 **なまず通信をよろしく。**

防災ひとロメモ その8

グラツときたら！ [運転中]



★ 運転中に揺れを感じたら、前後の車に注意して、交差点を避け、道路の左側に車を止めましょう。中央は緊急車両用に。

★ 避難する場合は、車にキーをつけたままにして、歩いて避難しましょう。